



2021年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年1月29日

上場会社名 株式会社篠崎屋

上場取引所 東

コード番号 2926 URL <https://www.shinozakiya.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 樽見 茂

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理グループ長兼経営企画部長兼IR室長 (氏名) 矢立 実

TEL 048-970-4949

四半期報告書提出予定日 2021年2月5日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第1四半期の業績(2020年10月1日～2020年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	799	4.1	33	30.3	33	24.6	25	31.3
2020年9月期第1四半期	768	11.1	25	299.4	27	277.4	19	616.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	1.78	
2020年9月期第1四半期	1.36	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期第1四半期	1,608	1,168	72.7	82.53
2020年9月期	1,502	1,143	76.1	80.75

(参考)自己資本 2021年9月期第1四半期 1,168百万円 2020年9月期 1,143百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期		0.00		0.00	0.00
2021年9月期					
2021年9月期(予想)					

2021年9月期の配当予想額につきましては、業績予想の開示を行っていないことから、現時点において未定とさせていただきます。配当につきましては業績予想の見通しを開示した際にお知らせいたします。

3. 2021年9月期の業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

業績予想につきましては、天候等の外部変動要因による業績への影響が大きく、予測が困難なため現時点での予想の開示は行っておりません。なお、情報開示につきましては既存店等の情報を月次で開示するとともに、第2四半期累計期間につきましては同第2四半期中、及び同通期につきましては同第4四半期中を目処に、分かり次第、速やかに適時開示をまいります。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期1Q	14,436,600 株	2020年9月期	14,436,600 株
期末自己株式数	2021年9月期1Q	278,800 株	2020年9月期	278,800 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期1Q	14,157,800 株	2020年9月期1Q	14,157,800 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績見通し等の前提となる仮定及び業績見通し等のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ、「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、消費者にとって価値のある商品づくり、人づくり、店づくりを目指し、「よりいいものをより安く」提供し、「三代目茂蔵」のブランド力を強化・確立することで、売上高及び利益の向上を図ってまいります。

当第1四半期累計期間において、商品につきましては、引き続き「三代目茂蔵」でしか購入することのできない「茂蔵オリジナル商品」を中心に、利益率の良い高付加価値・高価格帯商品の開発及び既存商品の高付加価値・高価格帯への見直しに注力し、顧客単価の上昇と利益の改善に努めました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響等による景気の先行きは不透明な状況となっていることから、お買い得感のある「生活応援企画商品」を強化することで顧客数の確保と売上高の拡大に取り組んでまいりました。

当第1四半期累計期間の売上高は799,273千円(前年同四半期比4.1%増)、営業利益は33,768千円(前年同四半期比30.3%増)、経常利益は33,664千円(前年同四半期比24.6%増)、四半期純利益は25,246千円(前年同四半期比31.3%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(小売事業)

当セグメントにおきましては、「三代目茂蔵」ブランドを「工場直売所」から「豆腐専門店」へと、転換を押し進めております。

当第1四半期累計期間におきましては、新聞の折り込みチラシの配布を行い、「三代目茂蔵」の認知度向上と顧客数の増加を図りました。また、開店時間から12時までの時間帯に「朝市」を開催し、「懐石弁当」などの高付加価値・高価格帯商品を時間限定でお試し価格にて提供することで、購買意欲の高い顧客層の来店頻度の向上を図りました。一方、出店につきましては条件や店舗形態等の見直しを行い、出店準備を継続して進めております。

これらより1店舗平均の顧客単価は、前年同四半期比105.4%となりました。一方、1店舗平均の顧客数につきましては、顧客単価の上昇等が要因となり同99.3%となりましたが、時間帯別では「朝市」の開催などにより開店から14時まででは同111.9%となりました。

以上の結果、小売事業の売上高は725,277千円(前年同四半期比4.4%増)となりました。セグメント利益(営業利益)につきましては売上高の増加により62,044千円(前年同四半期比16.4%増)となりました。

(その他事業)

その他事業は、小売加盟店及び業務用得意先への卸売事業並びに通販事業であります。

その他事業の売上高は73,996千円(前年同四半期比0.7%増)、セグメント利益(営業利益)は9,920千円(前年同四半期比2.0%増)となりました。

なお、当第1四半期累計期間の出店状況は、次のとおりであります。

(単位：店)

		前事業年度末 店舗数	増加	減少	当第1四半期末 店舗数
小売事業	「三代目茂蔵」(直営店)	44	1	—	45
その他事業	「三代目茂蔵」(加盟店)	59	7	1	65
合計		103	8	1	110

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産の残高は、前事業年度末と比較して105,762千円増加し1,608,176千円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加85,618千円、売掛金の増加16,746千円及び商品の増加12,018千円等によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末と比較して80,516千円増加し439,737千円となりました。主な要因は、買掛金の増加55,540千円、未払金の増加41,323千円及び未払法人税等の減少16,096千円等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末と比較して25,246千円増加し1,168,438千円となりました。これは四半期純利益25,246千円の計上により利益剰余金が25,246千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、天候等の外部変動要因による業績への影響が大きく、予測が困難なため現時点での予想の開示は行っておりません。なお、情報開示につきましては既存店等の情報を月次で開示するとともに、第2四半期累計期間につきましては同第2四半期中、及び同通期につきましては同第4四半期中を目処に、分かり次第、速やかに適時開示をまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	533,817	619,435
売掛金	66,304	83,051
商品	38,025	50,043
貯蔵品	608	818
その他	49,692	43,357
貸倒引当金	△30	△30
流動資産合計	688,417	796,676
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	75,121	75,123
構築物（純額）	5,212	5,027
工具、器具及び備品（純額）	10,936	11,532
土地	562,970	562,970
その他（純額）	3,290	3,049
有形固定資産合計	657,531	657,702
無形固定資産	3,412	3,177
投資その他の資産		
敷金及び保証金	138,712	138,712
その他	14,536	12,104
貸倒引当金	△197	△197
投資その他の資産合計	153,052	150,619
固定資産合計	813,996	811,500
資産合計	1,502,413	1,608,176
負債の部		
流動負債		
買掛金	171,309	226,849
1年内返済予定の長期借入金	20,004	20,004
未払金	39,845	81,169
未払費用	37,639	40,147
未払法人税等	28,764	12,668
その他	2,400	4,641
流動負債合計	299,963	385,480
固定負債		
長期借入金	56,658	51,657
その他	2,600	2,600
固定負債合計	59,258	54,257
負債合計	359,221	439,737
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	120,446	120,446
利益剰余金	63,641	88,887
自己株式	△40,896	△40,896
株主資本合計	1,143,192	1,168,438
純資産合計	1,143,192	1,168,438
負債純資産合計	1,502,413	1,608,176

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
売上高	768,026	799,273
売上原価	497,502	522,212
売上総利益	270,524	277,060
販売費及び一般管理費	244,600	243,292
営業利益	25,924	33,768
営業外収益		
受取利息	4	3
受取補償金	1,235	—
その他	17	25
営業外収益合計	1,258	29
営業外費用		
支払利息	166	131
その他	6	1
営業外費用合計	172	132
経常利益	27,009	33,664
税引前四半期純利益	27,009	33,664
法人税、住民税及び事業税	7,788	8,418
法人税等合計	7,788	8,418
四半期純利益	19,221	25,246

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自2019年10月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	小売事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	694,573	73,453	768,026	—	768,026
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	694,573	73,453	768,026	—	768,026
セグメント損益	53,324	9,721	63,046	△37,122	25,924

(注) 1. セグメント損益の調整額△37,122千円は各報告セグメントには配賦していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自2020年10月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	小売事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	725,277	73,996	799,273	—	799,273
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	725,277	73,996	799,273	—	799,273
セグメント損益	62,044	9,920	71,964	△38,196	33,768

(注) 1. セグメント損益の調整額△38,196千円は各報告セグメントには配賦していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。